

NO	団体名	第六次千葉県障害者計画に期待すること	「第六次計画に期待すること」の、第五次計画での関係施策	関係課	担当 専門部会	第六次計画位置付の視点	第六次計画 「取組みの方向性」 へ位置付けるもの＝ ○
						①障害者基本計画に施策の位置付けがあるか。 ②障害福祉計画基本指針に施策の位置付けがあるか。 ③第五次計画に位置付があり継続すべき施策か。 ④議会答弁や団体要望の回答などで県として取組むこととしている。 ①から④に該当するものは「取組みの方向性への位置付を検討」することを基本とする。	
1	特定非営利活動法人 千葉県精神障害者家族会連合会	○地域移行、住まいについて 民間アパート等への一人住まいとグループホーム生活との中間にあたるサテライト型グループホームの支援策もアパート住まいへの前段またはサテライト利用対応として講ずる必要があります。		障害者福祉推進課精神保健班	精神障害者		
2	特定非営利活動法人 千葉県精神障害者家族会連合会	○精神について、グループホームでは、当事者の調子が悪いと自宅に帰されてしまう。ケアホームと一体型の増設対策を講ずる必要があります。		障害福祉事業課 事業支援班	精神障害者		
3	特定非営利活動法人 千葉県精神障害者家族会連合会	○グループホームは、入りづらい、使いづらい、などの声があり、これに対処する必要があります。自炊、服薬管理、通院などの条件を聞くこともあります。		障害福祉事業課 事業支援班	精神障害者		
4	特定非営利活動法人 千葉県精神障害者家族会連合会	○グループホームの運営に、居宅介護との連携を強化する必要があります。		障害福祉事業課 事業支援班	精神障害者		
5	特定非営利活動法人 千葉県精神障害者家族会連合会	○民間アパートなどへの支援について、（精神について）民間アパート等へのニーズは非常に高く、地域移行の施策に極めて重要であるため、グループホーム等と同様に、民間アパート等の住まいへの支援策（家賃補助など）を講ずる必要があります。	2精神障害のある人の地域生活への移行の推進、（1）精神障害のある人の地域生活への移行支援、③民間賃貸住宅への移行については、千葉県あんしん賃貸支援事業に協力する不動産仲介業者や入居を受け入れる住宅を登録し、県ホームページで情報提供を行います。また、引き続き、関係機関と連携を図りながら、障害のある人の民間賃貸住宅への円滑な入居の促進に関する協議等を行います。	障害者福祉推進課 精神保健福祉推進班	精神障害者		
6	特定非営利活動法人 千葉県精神障害者家族会連合会	○ピアサポートの推進について、ピアサポーターを拡充し、活躍の場を広げるため、研修実施場所の拡大、研修回数が増大が必要です。また、ピアサポーターが活躍できるよう、病院や関係機関などが受け入れるよう、働きかけが必要です。	2精神障害のある人の地域生活への移行の推進、（2）障害のある人自らの体験を基に相談支援等を行うピアサポートの推進	障害福祉事業課 地域生活支援班	精神障害者		
7	特定非営利活動法人 千葉県精神障害者家族会連合会	○地域移行を促進するためには、地域の自立支援協議会の中に地域精神部会などを設け、家族会と病院が話し合う場を設けることも有効であります。	2精神障害のある人の地域生活への移行の推進、（1）精神障害のある人の地域生活への移行支援、④地域移行に当たっての家族への支援について、家族の負担軽減につながるよう、地域定着を支えていくために必要なサービスについて検討し、家族会等の関係者とも連携しながら情報提供します。	障害者福祉推進課 精神保健福祉推進班	精神障害者		

NO	団体名	第六次千葉県障害者計画に期待すること	「第六次計画に期待すること」の、第五次計画での関係施策	関係課	担当 専門部会	第六次計画位置付の視点	第六次計画 「取組みの方向性」 へ位置付けるもの＝ ○
						①障害者基本計画に施策の位置付けがあるか。 ②障害福祉計画基本指針に施策の位置付けがあるか。 ③第五次計画に位置付があり継続すべき施策か。 ④議会答弁や団体要望の回答などで県として取組むこととしている。 ①から④に該当するものは「取組みの方向性への位置付を検討」することを基本とする。	
8	特定非営利活動法人 千葉県精神障害者家族会連合会	○24時間365日救急対応可能体制の整備拡充が必要です。 (24時間対応コールセンター、緊急受け入れ可能な近隣病院の増強、高齢の家族が対応困難な当事者の自宅から、受け入れ病院までの移送体制の整備・拡充)	2精神障害のある人の地域生活への移行の推進、(3)精神科救急医療体制の充実、②身体合併症を有する患者については、各圏域において、夜間休日を含め24時間365日の救急対応が可能となるよう、精神科を有する総合病院の機能強化や精神科医療と一般の医療機関等との連携体制の整備について検討します。	障害者福祉推進課 精神保健福祉推進班	精神障害者		
9	特定非営利活動法人 千葉県精神障害者家族会連合会	○地域行事に精神障害者の施設からの参加、当事者と触れ合う機会を増やす等が必要と考えます。	2精神障害のある人の地域生活への移行の推進、(1)精神障害のある人の地域生活への移行支援、④精神障害のある人の実情や地域移行について理解を広げるため、心のふれあいフェスティバルや心の健康フェア等、精神障害のある人と地域がふれあう機会を提供し、関係団体と連携した普及啓発に努めます。	障害者福祉推進課 精神保健福祉推進班	精神障害者		
10	特定非営利活動法人 千葉県精神障害者家族会連合会	○権利擁護に係る医療機関の見える化を促進するため、利用者が医療機関の情報を確認できるよう医療機関が情報データを作成する仕組みを検討する必要があります。		障害者福祉推進課 精神保健福祉推進班	精神障害者		
11	特定非営利活動法人 千葉県精神障害者家族会連合会	○合併症対応病院について、精神障害者が、身体その他合併症に罹った場合、受け入れ可能な病院が少ないため、拡充するには協力病院を増やす必要があります。	2精神障害のある人の地域生活への移行の推進、(3)精神科医療体制の充実、②身体合併症を有する患者については、各圏域において、夜間休日を含め24時間365日の救急対応が可能になるよう、精神科を有する総合病院の機能強化や精神科救急医療と一般の救急医療機関等との連携体制の整備について検討します。	障害者福祉推進課 精神保健福祉推進班	精神障害者		
12	特定非営利活動法人 千葉県精神障害者家族会連合会	○精神障害者が重い症状のときに入院先が見つからない場合の対応策を講ずる必要があります。	2精神障害のある人の地域生活への移行の推進、(3)精神科医療体制の充実、②身体合併症を有する患者については、各圏域において、夜間休日を含め24時間365日の救急対応が可能になるよう、精神科を有する総合病院の機能強化や精神科救急医療と一般の救急医療機関等との連携体制の整備について検討します。	障害者福祉推進課 精神保健福祉推進班	精神障害者		

NO	団体名	第六次千葉県障害者計画に期待すること	「第六次計画に期待すること」の、第五次計画での関係施策	関係課	担当 専門部会	第六次計画位置付の視点	第六次計画 「取組みの方向性」 へ位置付けるもの＝ ○
						①障害者基本計画に施策の位置付けがあるか。 ②障害福祉計画基本指針に施策の位置付けがあるか。 ③第五次計画に位置付があり継続すべき施策か。 ④議会答弁や団体要望の回答などで県として取組むこととしている。 ①から④に該当するものは「取組みの方向性への位置付を検討」することを基本とする。	
13	特定非営利活動法人 千葉県精神障害者家族会連合会	○学校現場のメンタルヘルス教育の改善と父母・教職員・専門家との連携による早期支援体制の構築が必要です。（精神疾患の早期発見、早期対応、及び精神障害に対する偏見の解消、啓発） 学校教育では、福祉推進校等の取り組みがありますが、精神疾患についての理解がありません。病気への理解のための講座等が必要となります。教育機関だけでなく、福祉、医療 などと連携し、横断的に取り組む必要があります。精神障害の発症時期は14歳程度からが多く、初期段階で必要な医療ケアを行うことが重要です。		障害者福祉推進課 精神保健福祉推進班 教育庁指導課	精神障害者		
14	特定非営利活動法人 千葉県精神障害者家族会連合会	○多くの家族、市民が正しく病気を理解し、理解の輪が広がるために、家族会、福祉関係者等と連携し、行政がメンタルヘルス講座を定期的に開催する必要があります。また、当事者が精神障害をきちんと理解することも重要です。		障害者福祉推進課 精神保健福祉推進班	精神障害者		
15	特定非営利活動法人 千葉県精神障害者家族会連合会	○学習指導要領に、精神についての教育を加えるよう、国に働きかける必要があります。		障害者福祉推進課 精神保健福祉推進班 教育庁指導課	精神障害者		
16	特定非営利活動法人 千葉県精神障害者家族会連合会	○地域で、通院が難しい孤立した重症患者のために、多職種による訪問治療（アウトリーチ治療）は、非常にニーズも高く、効果的と考えられるため、県全体に普及するよう、支援策を講ずる必要があります。		障害者福祉推進課 精神保健福祉推進班	精神障害者		
17	特定非営利活動法人 千葉県精神障害者家族会連合会	○精神障害者に対応可能な訪問看護ステーションの拡充、及び質的改善のため、支援策を講ずる必要があります。現状対応可能なステーションは全体の3分の1という状況です。		障害者福祉推進課精神保健福祉推進班	精神障害者		
18	特定非営利活動法人 千葉県精神障害者家族会連合会	○地域で孤立している精神疾患をもつ患者家族のための、家族ピア相談活動を積極的に行っている家族会の意義を評価し、家族会活動を社会資源としてとらえ、その支援策を講ずる必要があります。（各単位家族会で行っている、「家族相談」「家族による家族学習会」など）家族会の育成強化を図っていただきたい。		障害者福祉推進課 精神保健福祉推進班	精神障害者		

NO	団体名	第六次千葉県障害者計画に期待すること	「第六次計画に期待すること」の、第五次計画での関係施策	関係課	担当 専門部会	第六次計画位置付の視点 ①障害者基本計画に施策の位置付けがあるか。 ②障害福祉計画基本指針に施策の位置付けがあるか。 ③第五次計画に位置付があり継続すべき施策か。 ④議会答弁や団体要望の回答などで県として取組むこととしている。 ①から④に該当するものは「取組みの方向性への位置付を検討」することを基本とする。	第六次計画「取組みの方向性」へ位置付けるもの＝○
19	特定非営利活動法人 千葉県精神障害者家族会連合会	○「精神疾患の患者数」は、どのデータをもって患者数としますか。県の第五次障害者計画（14,15頁）では、手帳所持者（31,393人）、精神科医療機関の通院患者数133,541人A）及び入院患者数（11,059人）をデータとしています。 市町村の障害者計画では、千葉県精神保健福祉センターが策定している「自立支援医療費（精神通院医療）受給者数（合計73,649人B）の市町村別データと手帳所持者をもって患者数としています。 ＊このAとBには大きな数値の乖離があるが、県下、市町村は何のデータをもって精神障害者数とするのが適切かをご教示願いたい。 なお、年報「千葉県の健康福祉行政」によれば、年度の推移に係る精神障害者数は、精神病床の入院患者と自立支援医療（精神通院医療）受給者の合計の数値と説明されています。精神障害者数については、障害者計画の中で、適切な説明が必要ではないで		障害者福祉推進課 精神保健福祉推進班	精神障害者		
20	特定非営利活動法人 千葉県精神障害者家族会連合会	○重い精神疾患の入院する医療環境が劣悪な状況にあり、当事者、家族の大きな悩みになっています。中には長期間大部屋で拘束され、虐待まがいの状態で入院している患者がいます。転院を求めるが受け入れるところもなく、中には刑事事件にまで発展しており、当事者、家族はその環境に諦め、我慢の状態にあります。虐待防止法のスキームに医療機関が入っていないことから、実態が明らかになっていないが、この声は多く聞くことから、県は実態を調査し、入院環境の改善と医療機関の運営改善を指導されたい。		障害者福祉推進課 精神保健福祉推進班	精神障害者		
21	特定非営利活動法人 千葉県精神障害者自立支援事業協会	○総論として、計画達成のための具体的な促進策を明記する計画とすること。また、就労継続支援事業A型や放課後等デイサービスのようにあり方が問題視されている事業については、設置を抑制する方策も検討する必要があります。 ○これまでの計画で効果が期待できない施策または不要な施策については、廃止することも必要です。		障害者福祉推進課共生社会推進室（計画） 障害福祉事業課 事業支援班、療育支援班	精神障害者入所・地域療育支援		
22	特定非営利活動法人 千葉県精神障害者自立支援事業協会	・精神障害者の地域移行を進めるために、退院促進や地域移行は県や市町村の義務であることを明記するとともに、医療機関に対する意識の変革を働きかける具体的な方策を掲げることが必要です。	2精神障害のある人の地域生活への移行の推進、圏域連携コーディネーターを配置し、病院、障害福祉サービス事業所等の連携を図ります。おおむね60歳以上の高齢入院患者の退院を支援するため。病院内での多職種と地域の関係者のチームによる取組みを支援します。	障害者福祉推進課 精神保健福祉推進班	精神障害者		

NO	団体名	第六次千葉県障害者計画に期待すること	「第六次計画に期待すること」の、第五次計画での関係施策	関係課	担当 専門部会	第六次計画位置付の視点	第六次計画 「取組みの方向性」 へ位置付けるもの＝ ○
						①障害者基本計画に施策の位置付けがあるか。 ②障害福祉計画基本指針に施策の位置付けがあるか。 ③第五次計画に位置付があり継続すべき施策か。 ④議会答弁や団体要望の回答などで県として取組むこととしている。 ①から④に該当するものは「取組みの方向性」への位置付を検討」することを基本とする。	
23	特定非営利活動法人 千葉県精神障害者自立支援事業協会	・精神障害のある人の地域生活への移行支援について高齢入院患者地域支援事業が終了になったことで、病院が主体となって地域と協力して退院させる意識が薄れることが懸念される。今後も病院に、高齢入院患者の退院への意識を持ってもらう取り組みが必要と思われる。	2精神障害のある人の地域生活への移行の推進、圏域連携コーディネーターを配置し、病院、障害福祉サービス事業所等の連携を図ります。おおむね60歳以上の高齢入院患者の退院を支援するため。病院内での多職種と地域の関係者のチームによる取組みを支援します。	障害者福祉推進課 精神保健福祉推進班	精神障害者		
24	特定非営利活動法人 千葉県精神障害者自立支援事業協会	・精神障害のある人の地域生活への移行の推進について。精神科病院への推進はもとより、相談支援事業所に対する地域移行への意識付けに取り組む必要がある。	2精神障害のある人の地域生活への移行の推進、圏域連携コーディネーターを配置し、病院、障害福祉サービス事業所等の連携を図ります。おおむね60歳以上の高齢入院患者の退院を支援するため。病院内での多職種と地域の関係者のチームによる取組みを支援します。	障害者福祉推進課 精神保健福祉推進班 障害福祉事業課 地域生活支援班	精神障害者 相談支援		
25	特定非営利活動法人 千葉県精神障害者自立支援事業協会	○ピアサポーターの養成研修について、参加のハードルが高いので、基礎的な内容の研修を県内3箇所ほどで開催し、参加者の便宜を図る。	2精神障害のある人の地域生活への移行の推進、(2)障害のある人自身が自らの経験を基に相談支援等を行うピアサポートの推進	障害者福祉推進課 精神保健福祉推進班 障害福祉事業課	精神障害者 相談支援		
26	特定非営利活動法人 千葉県精神障害者自立支援事業協会	○地域移行支援協議会を軸とした遠隔地の退院支援は、支援経路が複雑であり、必要な人は相談事業所等の調整で支援が行われている実態から地域の窓口として、情報提供等を行う役割が妥当ではないか。		障害者福祉推進課 精神保健福祉推進班	精神障害者		
27	特定非営利活動法人 千葉県精神障害者自立支援事業協会	○地域の理解と協力を得にくい人（地域で問題をおこすとされる人）について、退院後の医療フォローのあり方、福祉資源の十分ではない状況も踏まえた対応についての検討が必要。	2精神障害のある人の地域生活への移行の推進、(1)精神障害のある人の地域生活への移行支援、①障害のある人の地域生活についての近隣住民の正しい理解が得られるよう、地域の行政、権利擁護団体、不動産業団体等との協力のもと県民への啓発に努めます。また、障害者条例の相談支援等により個別事案の解決にあたります。	障害者福祉推進課精神保健福祉推進班	精神障害者		
28	特定非営利活動法人 千葉県精神障害者自立支援事業協会	○グループホームの整備促進について、消防法や建築基準法を柔軟に運用する千葉県独自の基準策定が必要である。	2精神障害のある人の地域生活への移行の推進、(1)精神障害のある人の地域生活への移行支援、⑧精神障害のある人などのためのグループホームの整備など社会情勢に即応した整備に努めます。	障害者福祉推進課 精神保健福祉推進班 障害福祉事業課 事業支援班	精神障害者 入所・地域		

NO	団体名	第六次千葉県障害者計画に期待すること	「第六次計画に期待すること」の、第五次計画での関係施策	関係課	担当 専門部会	第六次計画位置付の視点 ①障害者基本計画に施策の位置付けがあるか。 ②障害福祉計画基本指針に施策の位置付けがあるか。 ③第五次計画に位置付があり継続すべき施策か。 ④議会答弁や団体要望の回答などで県として取組むこととしている。 ①から④に該当するものは「取組みの方向性への位置付を検討」することを基本とする。	第六次計画 「取組みの方向性」へ位置付けるもの＝○
29	特定非営利活動法人 千葉県精神障害者自立支援事業協会	○グループホームの設置運営のための費用の補助について、さらに促進する。特に精神障害者が利用しやすいサテライト型住居を増やす取組みを行っていく必要がある。	2精神障害のある人の地域生活への移行の推進、(1)精神障害のある人の地域生活への移行支援、⑧精神障害のある人などのためのグループホームの整備など社会情勢に即応した整備に努めます。	障害者福祉推進課 精神保健福祉推進班 障害福祉事業課 障害主推進班	精神障害者 入所・地域		
30	特定非営利活動法人 千葉県精神障害者自立支援事業協会	○現段階ではグループホームを増やす必要はあるが、生活保護を受給しながらアパートで生活する選択肢もあることを配慮する。	2精神障害のある人の地域生活への移行の推進、(1)精神障害のある人の地域生活への移行支援、⑨民間賃貸住宅への移行については、千葉県あんしん賃貸支援事業に協力する不動産仲介業者や入居を受け入れる住宅を登録し、県ホームページで情報提供を行います。また、引き続き、関係機関と連携を図りながら、障害のある人の民間賃貸住宅への円滑な入居の促進に関する協議等を行います。	障害者福祉推進課 精神保健福祉推進班	精神障害者		
31	一般社団法人千葉県 精神保健福祉士会	精神障害者理解のための行事について、実行委員会形式で行われているが、会議回数も多く委員の負担が大きい。回数の見直しなどを行ってほしい。また、タウンミーティングなどによる理解の促進を検討してほしい。		障害者福祉推進課 精神保健福祉推進班	精神障害者		
32	一般社団法人千葉県 精神保健福祉士会	医療保護入院者に定期病状報告書を千葉県あて年1回提出している。報告書の退院に向けた取り組みの状況について記載する欄がある。この内容を整理すると傾向が把握できる。分析し、施策に生かすことを検討してほしい。		障害者福祉推進課 精神保健福祉推進班	精神障害者		
33	公益社団法人千葉県 医師会	○精神障害のある人の身体合併症に適切に対応できているのか検証する。		障害者福祉推進課 精神保健福祉推進班	精神障害者		